

令和6年度事業報告

(令和6年4月1日から令和7年3月31日)

令和6年度は1期2年の折り返し年度として、各委員会事業や支部活動を更にブラッシュアップさせることで活気に満ちあふれる部会を運営することができました。

会員増強・交流事業委員会は8月「山の集い」は大型台風の影響により残念ながら中止となりましたが、10月の新規入部会者の集いでは大街道商店街ファーストボウルの最後の団体客としてボウリング大会を開き、参加者50名が交流を深めて白塊での表彰式は大いに盛り上がりました。会員数は二年連続で全法連青連協より入部会者数の表彰をいただくなど300名に近い数を維持しています。

公益事業推進委員会においては昨年度の防災セミナーの第二弾として9月25日に「大規模災害における自衛隊の公助」と題して自衛隊愛媛地方協力本部長 一等陸佐 真部 亮太様よりご講演を賜りました。また、第二部では中部方面特科連隊第4大隊（陸上自衛隊松山駐屯地）のみなさんによる体験型実演を行っていただきました。緊急時の救助に役立つロープワークや簡易担架の作り方など参加者も実際に道具に触れて学ぶことで更なる防災意識の向上につなげる事ができました。この様子はテレビ愛媛 Live News（夕方）にて放送されました。租税教育委員会では本年も「租税教室×夢きらきらプログラム」と「主権者教育（模擬選挙）」を取り入れ、パワーポイントを児童目線で刷新するなど、楽しく理解しやすい授業へと進化しました。授業を開催したのは松山市立潮見小学校・石井小学校・雄郡小学校・伊予市立北山崎小学校と昨年度より1校増えた4校で、児童や関係者にとって忘れられない夢の時間となりました。渉外・広報委員会ではFacebookに加えてInstagramでの更なる創意工夫により多くの方々へその活動の魅力を知っていただく事で、新規・既存会員の活性化に努めてきました。渉外活動としては11月25日松山モノリスで「松山青年3団体スポーツ交流事業（JC・YEG・法人会青年部会）」を開催しました。各3団体からは76名が参加して団体の垣根を越えたテーブル対抗で、種目はeスポーツ「太鼓の達人」で大いに盛り上がり懇親会では絆を深めました。

9月の県大会（新居浜マイントピア別子）や11月の全国青年の集い（福井大会）は本年度も松山から20名のご参加をいただき、全国の仲間たちと共に盛り上がりました。

また、各支部例会は各支部が特色のある例会を開催しております。第1支部のバーベキュー例会、第2支部の浴衣例会、第9支部のいもたき例会、第3支部の愛媛マンダリンパイレーツ応援例会は荒天により残念ながら中止となりましたが、OBを巻き込んだ例会や小規模な支部は合同例会を開催するなど、各支部の活性化は部会全体により良い流れを呼び起こしていると実感しております。4月のお花見例会では参加者80名、忘年例会や新年例会は共に100名規模での開催により大盛況でした。

そして、新たな若手メンバーの入会など優秀な人材は確実に増えて成長を続けており、目標で掲げた「若手リーダーの育成」と「女性活躍の推進」は一步ずつ前進していると感じています。

しかし、中小・零細企業を取り巻く環境をみると、物価高騰や人手不足・賃上げ問題・価格転嫁など課題は山積しています。パンデミックと言われた時代を乗り越えたに見えますが、歓楽街などでは不況が続いていると耳にします。こんな時だからこそ、同世代の仲間が悩みを分かち合い、希望を語り、法人会らしくこの「まち」をこれからも元気に盛り上げていきましょう。松山法人会青年部会は、全国屈指の組織力があり、会員相互が伸び伸びと豊かに活躍できる最善の会だと確信しています。

今後とも当部会へのご支援ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。